

## 7) 安心・安全の子育て社会をつくるための事業の推進

少子・高齢化の急速な進展、本格的な成熟社会の到来など、社会情勢が大きく変化する中で、市民の協働と参画による、だれもが安心して子育てができる社会環境づくりが求められています。

たとえば、核家族で子育てをしている親にとって、子どもの身体に異変が起きたときは、大変不安になります。特に初めての子で身近に相談する人がいない場合は、この傾向が強くなります。

また、交通安全対策や道路整備などにおいても、子どもと子育て中の親が安心して日常生活を送ったり外出したりできるようにするための、子育て支援に向けた環境整備を進めていくことが求められています。

さらに、近年は街頭犯罪や侵入犯罪が増加し、学校内等における児童に対する事件が相次いで発生してきており、行政の取り組みはもちろんです。市民一人ひとりの安全への意識の確立と相互の協力によって、地域の安全は地域全体で保ち守ることも大変重要になっています。

### ◆施策の方向性と主な事業

#### ①安心して子育てができる環境の整備

子どもが病気になった時に、安心して医療にかかることのできる小児医療体制の整備を図るとともに、親の育児に対する経験不足から生じる子どもの病気時の不安を取り除き、落ち着いて子どもの状態に応じた家庭看護ができるよう、相談体制などを整備していきます。

No.	H21年度からH22年度への事業の方向性	事業名	事業概要	成長過程	所属名
7101	継続	小児救急医療体制の充実	阪神北広域こども急病センターの運営 トリアージ基準を明確にし、後送病院とのネットワーク下で役割分担を行う。地域子育て支援グループと連携し、適正受診の指導を行う。小児プライマリーケアの医師・看護師の研修を実施する。	赤 幼 学 青	健康福祉課
7102	継続	市立伊丹病院小児科における育児支援サービス事業	外来・入院患者を対象に健康教育、虐待防止、薬の上手な飲ませ方、子育て初心者の育児相談などを外来スペースに設置した相談コーナーで行い、子どもが病気の時などの育児不安の解消を目指す。	赤 幼 学 青	伊丹病院
7103	継続	保育所への看護師の設置	保育所入所児だけでなく、地域の在宅児の健康相談やケアを担い、小児医療の一助となるよう保育所への看護師の配置を検討していく。	赤 幼 学 青	保育課

No.	H21年度からH22年度への事業の方向性	事業名	事業概要	成長過程	所属名
7104	継続	いたみ子育て家庭応援事業	子育て家庭に対して優待サービスや施設面での配慮のある企業・店舗を「いたみ子育て応援店」として認定し、シンボルマーク「すくすくちゃん」を店頭等に掲示してもらうことにより、子育て家庭が利用しやすい環境を作る。		こども企画課
7105	新規	病児託児事業	医師、看護師、コメディカル等の子育て中の職員が、より働きやすい環境を実現するために、病院敷地内で病児託児（定員2名）を実施する。病児託児を担当する者は、伊丹市シルバー人材センター会員または看護師OBが行う。		伊丹病院
7106	新規	子育てサロン	月に2回程度、公民館1階ギャラリーに親子遊びスペースを設置し、親子に自由に来ていただき、親同士の交流の場を提供する。		中央公民館

## ②子どもの交通安全を確保するための活動の推進

子どもを交通事故から守るため、警察や幼稚園等関係団体との連携・協力体制の強化を図り、幼児の交通事故防止に努めます。

No.	H21年度からH22年度への事業の方向性	事業名	事業概要	成長過程	所属名
7201	継続	幼児交通安全クラブ	幼稚園の園児等およびその保護者が基本的な交通安全に関する習慣づけやルールを学べるよう、警察をはじめとする関係機関と連携し、公・私立幼稚園・保育所等における交通安全指導を行っていく。		生活安全課

## ③子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

子どもが犯罪被害に遭わないよう、関係機関・団体と連携し、情報交換や犯罪等に関する情報の収集、学校付近・通学路などにおける見守り活動などを行っていきます。

No.	H21年度からH22年度への事業の方向性	事業名	事業概要	成長過程	所属名
7301	継続	補導活動事業	地域に密着した街頭補導と「愛の一声運動」を推進していく。あわせて、関係機関・団体と連携したキャンペーン等による広報啓発活動を実施する。		社会教育課 (少年愛護センター)